高速道路会社は雪の時こそ通行を保障せよ

二月初めの北陸豪雪では、北陸高速道路は除雪の為として早々と通行止め。一般道に車が数珠つなぎとなり、動けなくなった。

三、四年前の私の経験でも、大雪で中央高速道路が通行止め。長野から八王子迄、二十数時間かかった。

儲け第一の高速道路

雪が降ったからと云って物流が減る訳ではない。高速道路を通行止めにしたら、そこを通っていた大量の車が一般道に来るのは自明のこと。大渋滞となる。

「雪で通行止め」って公共事業としておかしくないか?

通行量の大部分を担っている高速道路だが、実は株式会社。公共サービスより儲けが第一らしい。通常は大量の車を通して大儲け。いざ、大雪の時には「事故の処理が面倒。通行止め」と云う事らしい。

高速道路は路肩もある。片側二車線なら、雪運びの車の為に一車線を専有しても、残り一車線は一般に開放できる筈。

速度指導車を

問題は雪道を高速で走り事故を起こすこと。

それなら、雪用タイヤやチェーンの装着を厳格にチェックし、速度を厳しく規制すれば良い。速度指導車を「低速」の「定速」で走らせ、追い越し禁止。速度指導車を先頭にした車列となる。そうすれば事故の確率も減る。

一般道で大渋滞になり身動き取れないより遥かに効率が良い。

国も指導すべきだ。

皆さんはどう思われますか?

来週はお休みします

メタセコイア

神奈川県横浜市南区永田みなみ台　二〇一八年二月

拙宅の近くの団地にすっきり、真っ直ぐ、背の高いメタセコイアがある。春の若葉、秋の黄葉がとても美しい。

左のマンションは十一階建てだから、メタセコイアも高さ三十五米位ある。

メタセコイアの化石は日本各地で第三紀(六四三〇万年前から二六〇万年前まで)の地層で見つかる。

絶滅した種と思われていたが、一九四五年に中国の重慶の東約二百キロの地に生育していることが確認された。それで「生きている化石」と呼ばれる。その種で各地にメタセコイヤが育てられている。

北米のセコイアは常緑樹だがメタセコイアは落葉樹。この時期、枝に沢山の実を下げている。